

2023
vol.

3

108巻第3号 発行2023年8月1日

編集・発行 日本青年団協議会

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1日本青年館5階

TEL 03-6452-9025 FAX 03-6452-9026

MAIL dan_news@dan.or.jp

Web <https://www.dan.or.jp>

日本青年団新聞

Youth Post

次世代へ想いをつなぐ

Action

- 2 p 獅子舞が暮らしの一部に (東京都・阿古青年団)
3 p 20年かけて団員獲得へ (愛知県・豊橋市青年団協議会)
3 p 全国で再会を願う (宮崎県・宮崎県青年団協議会)

青年団とSDGs

- 4-5 p
海が抱える課題
山から海への想い (宮城県・蔵王町青年団体連絡協議会)
ふるさとの海岸をキレイに (山口県・長門市三隅青年団)
海を守ることは「命のつながり」を守ること
(新江ノ島水族館企画開発部広報 / 井上麻子氏)

リーダーと語る

- 6 p 子育ての先にある地元の未来
(沖縄県・南風原町議会議員 / 赤嶺奈津江氏)

青年団ってどんなところ？

- 7 p 「変な人だと思ってた」 (徳島県・童学寺)

OPINION

- 8 p 猿まねのす々め
(日本青年団協議会事務局長 / 棚田一論)

イケ団

- 8 p 青年団は地域から
(福井県・池田町青年団 / 飯田拓也氏)

はらぺこ青年団

- 8 p 「チャンピオンバーグ」
(大松健祐支局員・愛知県青年団協議会)

※氏名の祐という漢字は、本来旧漢字の示(しめすへん)に右という表記となります。

三宅島阿古青年団の獅子舞。中盤、獅子が静かに夢を見ている間に、数人のひょっとこが御幣(神社でお祓いに使う道具)を右手に持ち、家の中にいる悪いものを集めて回る

「Youth Post・ユースポスト」とは、青年の活動や想いが全国に届くことを願って、Youth・ユース(青年)とPost・ポスト(郵便物)を組み合わせたものです。

本紙は、青年や青年団が全国でいきいきと活躍する姿を伝える日本青年団協議会の機関紙・広報紙です。

獅子舞が暮らしの一部に

〜時と世代を超え伝えられる島の文化〜 (東京都三宅村)

「ガン、ガン!」「ドン、ドン!」獅子と太鼓との掛け合いを合図に始まる獅子舞。東京都の離島、三宅島阿古地区で活動する阿古青年団は、毎年2月の最初の午の日(初午)に地区の家々を回り、それぞれのお宅の中で獅子舞を舞って、一年の災厄を払う。ひよつとこが家中を歩き回って玄関に厄を寄せ、獅子はその厄を追い出しつつ家人の頭を噛むこと



墓の周りに敷く海砂を、海岸で集めて墓地に

運ぶのも青年団の役目

ある旧・給食センターの建物の管理を村から請け負っている。しかし実際にはその立地もあり、ほぼ阿古青年団が専ら利用し

で、無病息災を祈るとされている。祭事のほか夏祭りややぐらを組み、祭りに出したり、お盆を前にした墓地の草刈りや墓地への砂上げ、海水浴場の海岸清掃など様々な活動に取り組み。役員には、東京都庁三宅支庁への出向者や地域おこし協力隊員もおり、青年団は多様な背景の者を受け入れている。

◆次世代へと受け継ぐ

三宅島には5つの地区がある。そのうち伊ヶ谷を除く4つの集落で、それぞれ集落名を名前に冠した青年団が活動している。島で最も大きい行事であり2年に一度開催される8月の富賀神社大祭では、阿古地区の富賀神社から神輿を出し、青年団が中心となって神



東京都三宅村

奥を担ぎ隣の地区に受け渡ししながら、6日間かけて時計回りに島を一周する。その距離約30km、老若男女問わず島民には欠かせないおまつりだ。

獅子舞には地元中高生も取り組み、獅子に入ったたり太鼓を叩くなど中核として活躍している。彼らに話を聞くと、「獅子舞をやることで目立ちたい」「大人と関わることで多くの話が聞ける」など、積極的に参加している。団長の長谷川純一さん(38)は、「団員数も少なく時に苦労することもあるが、地区のために力を合わせていきたい」と決意をあらわにしている。

お問合せ: Instagramで「@ako_seinendan」または「阿古青年団」と検索



地元高校生(写真左)も先輩に教わりながら太鼓を叩く。この日は3人の中高生が、太鼓をたたいたり獅子に入って共に舞っていた



1983年の噴火は阿古地区にも襲いかかった。小学校の3階まで溶岩が押し寄せ、窓で止まった様子は今なお生々しい。当時住んでいた実家の下敷きになっている青年団OBらも少なくない

20年かけて団員獲得へ

〜まつりの参加者を団員に〜

(愛知県豊橋市)



豊橋市青年団協議会は、総勢40名で盆踊りや献血事業など、年間を通じ地元に着して活動している。今年で51回目を迎える、「太陽と子どもまつり」も、欠かせない活動の一つである。青年団にとっては、企画・広報、設営、そしてチームを出すことで、事業開催に至るまでの

ノハウ習得の場にもなっている。5月21日に高師緑地公園で開催された。主催である実行委員会では他団体と協力し、企画や設営を担当しているほか、当日は出展団体として子どもたちが楽しめる遊びを提供している。青年団も団員がネットサーフィンで偶然見つけた紙飛行機づく

た紙飛行機を飛ばしたほか、担架で運ばれる体験も行ったり盛りだくさんのブースだったが、団員たちが知恵を振り絞って、4時間でのべ200人も参加者を受け入れた。初めてブースを出展してから20年。かつての参加者は社会人になり、青年団へ入団できる年代となった。SNSを通じた団員募集も軌道に乗り、若い新入団員も少しずつ増えている。



飛行機の作り方をボードに掲示し工夫を凝らす

り、近年の防災意識の高まりに即席担架づくりを行った。子どもたちと作っ

世代交代という根深い課題と根気よく向き合いながら、この活動は世代を超え多くの人たちを笑顔にしている。

お問合せ: 愛知県青年団協議会 Mail:aiseikyounifty.com, 豊橋市青年団協議会 TEL:090-2133-785

全国で再会を願う

〜つながる楽しさと続ける醍醐味〜

(宮崎県宮崎市)



去る5月28日にひなた宮崎県武道館(宮崎県宮崎市)で、第39回宮崎県青年団協議会定期大会を開催した。2023年度より会長に就任した山中惇司さん(29)は「コロナのことがあり、これまで思うように活用できなかったが、5類になることもあり

行動がしやすくなった。私自身、各地域の会議や事業に積極的に参加して、仲間とのつながりを繋ぎ直したい」と抱負を語った。また、今年から役員になった黒木晏夏常任理事(30)は「先輩や仲間がつなぐ襷を、仲間とともに次代に渡したくて立候補し

を代表し、他県の青年団活動に県内の仲間を連れて参加することはもちろん、他県の青年団と連携し、秋頃に研修会を開催予定だ。さらに、東京都内で開催する第71回全国青年大会の交流企画(ポウリング・外苑マルシェ)の中心団体として動いている。県内の青年たちが県を超えてつながり、全国の仲間と競い合える醍醐味を味わってもらおうのが会長のねらいである。



ギャルピースで幕を閉じた定期大会

い決意を述べた。宮崎県青年団協議会として掲げるのは、県境を超えた交流である。県

そうして切磋琢磨するエネルギーは、地域での更なる活動の発展や、新しい事業を生み出す原動力につながっていく。

お問合せ: 宮崎県青年団協議会 TEL:0985-71-1181



青年団とSDGs

昨今、持続可能な社会をめざすための17項目のターゲット（SDGs）を実践することが社会的に注視されています。しかし、SDGsとして注視される前から、地域を支える青年たちは17項目にあげられるような活動に専念してまいりました。本紙では、地域で活躍する青年たちの活動とSDGsについて、各号ごとのターゲットに沿ってご紹介いたします。本号では、「目標14 海の豊かさを守ろう」の視点から、環境保全活動に取り組む青年団の取り組みを紹介いたします。宮城県と山口県の青年団がどのように地域で実践しているのかご覧ください。



海面上昇に伴い発生した雲は、やがて陸地へ移動し、雨をもたらします。この関係を「森は海の恋人」と表現することもあります。また、地域によっては青年団がウミガメの卵を保護しているところもあります。

◆海が抱える課題

地球全体の表面積のうちおよそ70%が海を占めています。この広大な海は、数億年前に生命を誕生させ、今でも豊富な魚介・海藻等の供給源としても私たちの命を支え続けてきました。しかし、母なる海とも言われる海は、海水汚染や魚の乱獲など様々な課題に脅かされています。さらに、海を漂うプラスチックごみは、海洋生物たちの生命を脅かすだけではありません。ごみを食した海洋生物を人間が食し、人間の健康が損なわれている事例もあります。2021年に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」では、プラスチック製品の製造から使用に至るまで、資源が循環できるように取り組むことが義務化されました。生産者だけでなく私たち消費者も対象となったこの法律から、現在、どれだけ海洋汚染が深刻化しているかが透けて見えます。また、目標14「海の豊かさを守ろう」は、目標13「陸の豊かさを守ろう」と対の目標として、海水汚染の課題を解決し、海の資源を守ることをめざしています。誰かが流してしまったゴミは、人の手で回収する必要があります。

●久保博成（山口県青年団）支局長

より投稿



地元のない海を目の前にゴミ拾い

袋一杯になるほどのゴミが集まり、団員たちは驚きを隠せなかつたそうです。この活動を通して佐藤和博会長（31）は、「海を守ることは、私たちの山を守ることに密接に関係しているとも考えています。正直なところ、ここまでゴミが多いと木々が育たずに土砂崩れ等を起こす可能性もあります」と危機感をもった表情で感想を述べています。団員たちは、この取り組みの重要性を再確認し、今後も活動を継続

◆山から海への想い

（宮城県・蔵王町青年団体連絡協議会）宮城県南東部に位置する蔵王町青年団体連絡協議会では、2022年9月に宮城県巨理町にある鳥の海岸付近のゴミ拾いを行いました。蔵王町は内陸の町であり、森林資源が豊かなぶん、海から生まれる海産物や雲から発生する雨による豊富な資源は、海があるからこそと考えていました。そこで、蔵王町B&G海洋センターとの共同開催で行い、団員たちでそうした環境問題に取り組み、SDGsの学びを深めようと、参加者一人ひとりが一つの袋を持ち、清掃に励んでいました。ところが、あつという間に袋一杯になるほどのゴミが集まり、団員たちは驚きを隠せなかつたそうです。この活動を通して佐藤和博会長（31）は、「海を守ることは、私たちの山を守ることに密接に関係しているとも考えています。正直なところ、ここまでゴミが多いと木々が育たずに土砂崩れ等を起こす可能性もあります」と危機感をもった表情で感想を述べています。団員たちは、この取り組みの重要性を再確認し、今後も活動を継続

していくことを確認しています。

●大野諒支局長

（宮城県青年団体連絡協議会）より投稿

◆ふるさとの海岸をキレイに

（山口県・長門市三隅青年団）山口県の西北部に位置し、日本海に面した長門市。食やレジャーといった海の資源も豊富ですが、長年、国内外からの海岸漂着ごみに悩まされています。

毎年、市内の海岸清掃に個人的に参加していた団員の久保博成さん（34）は、全国の青年団でも海の清掃活動を行っていることを知り、初めて団員にも海岸清掃を呼びかけました。地元、長門市で行われ



海岸清掃に参加した青年団員と子どもたち

た2023年7月のイベントと一緒に参加し、ポリタンクやペットボトル、細かく砕けた発泡スチロールなど大量のプラスチックごみを回収しました。活動終了後、見えるほどきれいになった景色を前に、久保さんは「海岸清掃の喜びと大変さを体感して、みんな意識も変わったはず」と満足気な話をしています。今年8月には、市内の村田清風記念館で開催され

る子ども向けワークショップ「海のジェルクヤンドルづくり」にも携わる青年団。江戸時代に蠟の生産を奨励し、藩の財政再建を果たした清風の功績を伝える企画にも、海岸で拾ったガラス片「シーグラス」を材料に使用予定です。今後長門市で暮らす子どもたちにとって一番身近な「海」をテーマに、さまざまな角度からSDGs全体を考えるきっかけをつくっていききたいと団員たちは意気込んでいます。

●久保博成（山口県青年団）

田中輝（山口県青年団）・好永克成（長門市三隅青年団）支局長

より投稿

海を守ることは「命のつながり」を守ること

新江ノ島水族館 井上 麻子 氏

ビーチクリーンをおこなっていると、拾い集めるごみからいろいろなことがわかります。

比較的きれいなごみは浜辺にきたヒトが残していくもの。汚れて形が崩れているごみは、陸地で落としたり捨てられたものが川から海へ運ばれ漂着したもの。浜辺で見るさまざまなごみから、普段わたしたちがくらしている陸地での行動も考えさせられます。

山や森の恵み「肥沃な栄養分」が川を通して海へと供給され続けることで、海は砂漠化することなく豊かさを保ちます。また逆に、「海の恵み」を川や森に運び届ける生き物がいて、これらの命のつながりが森を育てています。

蔵王町青年団体連絡協議会・長門市三隅青年団のみなさまがおこなったすばらしい活動は、海だけを守るのではなく「命のつながり」を守ることにもなるのです。

新江ノ島水族館では、2009年から毎月第3日曜日にお客さまと一緒にビーチクリーンをおこなっています。

浜辺に打ち上るごみを拾い集めるだけでなく、一緒に貝がらなどの漂着物を観察し、その漂着物を使ってものづくりを楽しんでいます。

お客さまと一緒に地道に活動を続けていくことで、スタッフの意識も高まり、捨てない工夫、活用する工夫が生まれます。

青年団のみなさまの活動がこのように発信されることでその輪が広がります。海からの恩恵を受け、同じ海を守る仲間として、それぞれの場所で活動を継続していければと思います。

プロフィール

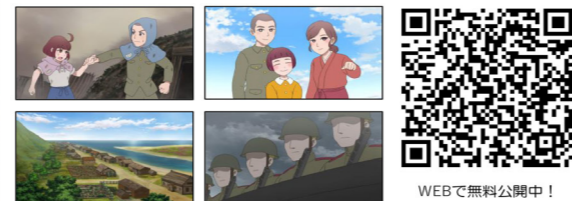
いのうえ・あさこ。新江ノ島水族館 広報チーム シニアマネージャー

勤務地は相模湾に面し、右手に富士山、左手に江の島を臨むロケーション抜群の水族館。地元の海の環境や生き物を紹介する相模湾ゾーンや、幻想的なクラゲ展示、不思議な深海生物、ペンギン、アザラシ、ウミガメにも会えます。なかでも美しいマイワシの群泳はお気に入り。



昭和20年の終戦当時、北方領土で何が起きたのか

元島民が強いられた「故郷を追われる」過酷な体験を知ってください。



WEBで無料公開中！

独立行政法人北方領土問題対策協会



THE UNIVERSE “えのすい” ×宇宙探検 [会期] 2023年7月14日(金)～10月1日(日)

地球の表面の70%を覆う海には、まだ私たちが知らない生命体が数多く存在します。この地球から見上げた先に広がる「宇宙」にも、きっと生命体が存在するはず。

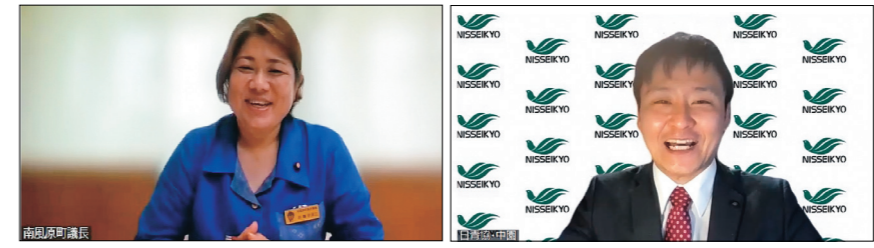
そんな視点で、海の生き物たちや空想の宇宙をみなさんにご紹介します。

◇詳細はこちら：新江ノ島水族館 <https://www.enosui.com/>



リーダーと語る 子育ての先にある 地元の未来

社会の最前線で活躍する方と語り合い、あらゆる角度から地域を見つめる本企画。今回は、沖縄県島尻郡南風原町議会議員を務める赤嶺奈津江氏と対談する。南風原町は合計特殊出生率が2.22*と全国で10位、人口4万人という規模では全国トップクラスである。その背景および地域全体で行う子育てと地域活動の関係について迫っていく。



▼赤嶺 奈津江 氏（写真左）
あかみね・なつえ。1971年生まれ。沖縄県島尻郡南風原町出身、在住。沖縄大学法経学部卒業。南風原町青年連合会会長を2期務める。建設会社勤務、自営業などを経て、2010年南風原町議会議員選挙に初当選（現在4期目）。2022年9月南風原町議会初の女性議長に就任。
▼日本青年団協議会会長 中国 謙二（写真右）
なかのぞ・けんじ。1980年生まれ。岡山県倉敷市在住。2008年に岡山県青年団協議会に入会する。日本青年団協議会役員を経て2020年より会長を務めている。

青年団って どんなところ？ ～うちのまちの青年団～ vol. 5

「変な人だなと思ってた」 童学寺 (徳島県・石井町)

本企画では、地域で青年団を支援したり応援したりしてくれている方々にスポットライトを当て、地域にとって青年団が果たす役割や意義を、地元の人の声や想いから見つめていきます。本号では、普段はお寺の住職として従事しながらも、参拝者になにか楽しんでもらえる出来事をつくりたいと考える塩田さんにお話を伺いました。

ステージでは、地元の高校生たちによる演奏会など開催され、生徒たちの友人らが駆けつける。地元住民あらかかけつけ、和やかな雰囲気の中で演奏が響き渡る



広い境内に、数多くの出展者と来場者がひしめきあう。いろは市以外にも、境内は青年団主催のコスプレイベント会場としても利用されるなど、多くの方々にとって、憩いの場として地元へ近づいている

◆**どんな選択肢も応援**
(中園) 南風原町は人口が多い中でも、全国で有数の合計特殊出生率ですね。
(赤嶺) 町ではいかに子どもを育てやすくするか、に力を入れていきます。例えば沖縄で初めて子どもの医療費の窓口無料化を実現したり、全国ワースト1位だった待機児童率を減らそうとしてきました。

(赤嶺) 町長も私も青年団OB・OGです。青年団の仲間とは同じ経験を通して、共通の話題がありました。
(中園) 青年団はまちを良くしたい、元気にしたい人が集まることで活動を共にするた、出会いの場になっています。青年団や若者団体の活動は、出生率や子育てに関連があるのでしょうか。
(赤嶺) 私たちは24～25歳くらいで青年団を引退する印象で、子育てしながら活動という認識はありません。しかし、親として子どもエイサーに関わったり、青年団に入らずとも地域とつながれるよう、学習ボランティアを務める方もいます。自分ができることから関わってほしい。また、エイサーをきっかけに結婚した人を何人も知っています。それでも最近では人口増加につれて宅地が増え、以前からエイサーの練習に使っていた会場でも練習の音がうるさいと苦情が入るようになってい

ました。沖縄中で課題になっていきます。
(中園) 自分と違う人のことを、受け入れられるようにしたいですね。
(赤嶺) まさにそうなんです。私は子連れで買い物をしてはお母さんを見つけたら、「私が子どもを見ているから買物しておいで」と言いたくなります。寂しいですね、子どもに声をかけても不審者に扱われるのは。ですので、自宅の前を子どもが通ったら必ずあいさつするようにしています。自分はこの地域の人なんだ、と知り、心がけてもらえるように。ケガをしたり、何かあったときに助け合えるつながりを、身の回りからつくりたいです。

◆**社会全体で子育てを**
(中園) 地元で社会教育委員の会合に出席した時に、「子どもをどうするか」という見方ばかりで親世代に対する論点が出ず、私から提案しても響かなかつたのが印象的です。
(赤嶺) 地域にいかにかあったときに助け合えるつながりを、身の回りからつくりたいです。折れそうなきっかけには仲間と支え合いつつ、もし〇〇だったら楽しいな、というものを自分たちでつくりあげること、自ら関わってほしいですね。すると、その様子を見ていた子どもたちが、ああいう大人になりたい、と思ってくれるはず。

未来をつむぐエネルギー TOKYO GAS GROUP

脱炭素社会実現へ——想像を超える。石油や石炭が主なエネルギーだった1960年代、エネルギー需要の拡大や大気汚染などの社会課題がありました。その時、私たち東京ガスグループは、優れた環境性と経済性を備えた「天然ガス」を導入し、東京に青い空を取り戻しました。そして今、私たちは、脱炭素社会実現に向けた新たな取り組みをスタートさせています。「想像を超える」新しいエネルギーのかたちを実現することで、持続可能な地球環境に貢献します。私たちの「CO₂ネットゼロ」への取り組みに期待ください。

東京ガスグループの取り組みはこちらから▼

◆**5000人が来る**
かつて弘法大使・空海が修行のため歩いたといわれる全長1400kmにも及ぶお遍路。徳島市に隣接する石井町は、お遍路中の人々をもてなす町でもある。そんな町にある童学寺ご住職の塩田龍澄さん(45)は、前職の経験をいかしたお菓子づくりの腕を披露する場がないという奥様の声に寄せられた。そこでお寺を会場とする「いろは手作り市」を開催してみると、いつの間にか、四国中から出展者も集まる県内最大級の手作り市となった。コロナ禍もあり、縮小開催していた時期もあったものの、徐々に規模を拡大し始めた今年5月。例年最大3000人を大きく上回る5000人も来場者を受け入れることができたのは、青年団の力があってこそだった。

◆**ファンキーな髪型**
ト会場としてもお寺を貸していたため、団長の細川さんのことは知っていた。けれども、馴染みのない団長のリーゼントヘアは、「変人」「ファンキーな髪形」という印象を強く残していた。しかし、手作り市の集客数が徐々に増え、子どもが集まるものの子供向けのブースがない現状に頭を抱えていたところ、総代も加わる実行委員会から青年団に助けを求めてはと声が上がった。実際にお願いでみると、細川団長は快く引き受けてくれた。あれよあれよという間に、団員たちは赤字覚悟でお菓子の詰め合わせを用意したり、当日の駐車場の整備をそつなくこなしていく。日頃から団員同士でよく話し合ったため、若い団員たちも真面目に運営に携わったことで、どうにかケガ無く無事に開催することができた。都心から離れたまちならで

は、良い意味でも悪い意味でもあそびのある町民の性格がある。この性格は、緊急車両が通るため空けておかなければいけない道に駐車することも許してしまう。しかし、青年団は「だめなものだめ」「町のみんなが安全に來られるよう協力してほしい」と、たしなめながら説得してくれたのだった。
◆**真面目な青年たちと**
実行委員会でも最年少の塩田さんは、積極的に携わってくれる若い団員たちの協力で感謝している。日中は仕事もあるため、無理のない範囲でとは考えつつも、お寺を利用する様々な方に楽しんでもらうためには今後も青年団の力が必要だと考える。

お問合せ：童学寺 TEL:088-674-0138

毎月17日発売!

月刊 社会教育

創刊1957年。実践家と研究者による市民のための社会教育総合誌。公共施設や教育施設における社会教育はいまどうあるべきか。毎号幅広いテーマで社会教育の在り方を見つめます。

定価：本体741円＋税

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
TEL03-5579-8973 FAX03-5579-8975 http://www.junposha.com/

日本青年館ホール 検索

「日本青年館ホール」で検索、もしくは右記QRコードよりお読みください。

〒160-0013 東京都新宿区露ヶ丘町4番1号
TEL:03-6447-5660
ACCESS: 東京メトロ銀座線 外苑前駅2b出口より徒歩5分

私たちが日本の社会教育を全国の青年団を応援しています。

※総代：檀家の代表として住職との話し合いの場を設けたり、檀家の声を運営に反映させる役割をもつ人のこと。童顔寺では、行事等ある時には率先して手伝い、指示を出す役割も担う

OPINION 猿まねのすゝめ

「他山の石」とは他者の良くない言葉や行い、つまらないできごと、自分を成長させる助けになる、という意味の慣用句である。これとは意味合いが異なるが、仲間との語り合いの中から学び合って、地域での活動を豊かなものにしてきた青年団にとって、他者からの学びは活動の柱とも言える。学習する内容は、何も活動に限ったことだけではない。自身が興味のある分野以外から、知識や経験を積極的に学び取り入れることにより、自身の考え方やアイデアを、より幅広く深みのあるものにすることができる。

例えば宮城県の大和町連合青年団では、団員がサンタ

やトナカイに扮し、町内の幼稚園児の自宅を訪ねてプレゼントを渡すサンタ事業を毎年実施している。他地域で同様の活動をしていることを知り、「私たちもやってみたい」と思ったのが、取り組み始めたきっかけだった。

何も無いところから新しい発想や事業を生み出すのは、相当に大変なこと。しかし同じ活動を続けていてもマンネリ化し、いずれ飽きられる。そうなれば地域から目を向けられなくなって、単なる自己満足に陥りかねない。または、すでに陥っていることもあるかもしれない。

まずは、興味をもった全国の取り組みをまねてみてはどうか。初めての挑戦は、猿まねで良いのだから。



青年団は地域から

飯田 拓也さん (33)

(福井県・池田町青年団)

飯田さんは18歳の時、当時の職場の先輩から誘われたことをきっかけに青年団に入団した。もともと「よさこい」をしていたことから、「よさこい」と青年団の魅力の両方を掛け合わせてなにか事業ができないかと日々模索する日々だ。見た目は強面だが、根は真面目で池田愛にあふれる笑顔が素敵な青年である。普段、池田町青年団では廃油を再利用しつくったエコキャンドルを並べ、大きなアート作品をつくる活動を行う。

しかし、町で行われる行事があまりないため、既存の活動だけでは団をアピールする場が少ない。町民からの知名度も低いことが飯田さんの悩みの種だ。これらの課題を解決するために、18年間開催できていない「全国池田サミット」の復活開催をめざし奮闘している。団の兄貴分として後輩に接することで、仲間と一つのことを成し遂げるやりがいがある。仲間と共に、飯田さんの先導で今後池田町を盛り上げていく。

池田町最高!



編集後記

先日、第54回北方領土復帰促進婦人・青年交流集會に参加してきました。最近は、コロナ禍ということもあり遠出をする機会が減っていましたが、改めて自分の目で確かめること、体験することの大切さを感じました。これからもっとたくさんの体験をして、自分の世界を広げていきたいです。みなさんの地元のおすすめスポットも是非、教えてください!(み)



最新の情報はこちら
<https://www.facebook.com/nisseikyo01/>

はらぺこ青年団

地元の名物を支局員が青年団のエピソードとあわせてご紹介。

この「チャンピオンバーグ」は、なかなかデカイ。その量400g、普通の人には「半分が良い……」と言われてしまうくらい。しかし、活力に溢れる豊川市中部青年団には関係ない。ペロリと平らげ、何食わぬ顔でデザートまで頼めてしまう。このハンバーグを提供しているお店は、「珈琲・レストラン Lira」。内装もとてもおしゃれで、居心地の良いカフェだ。今年2名の新団員を迎えた中部青年団は、このお店で歓迎会を実施。食事前にはテーブルゲームで親睦を深めた。青年団OBが愛用しているお店でもあり、今後も憩いの場にしていきたい。



●大松健祐支局員(愛知県青年団協議会)より投稿

※氏名の祐という漢字は、本来旧漢字の示(しめすへん)に右という表記となります。